

水産業強化支援事業事後評価報告書

整理番号	1-1	北海道
メニューの内容	水面利用調整の推進	
事業実施主体	北海道	
評価期間	令和元年度	
事業費	23,434 千円	
交付金額	9,507 千円	
成果目標	沿岸漁業調整対策会議開催回数17回、北方四島安全操業監視日数170日、ロシア連邦への通報回数(月報)23回、海外漁場入域漁業指導担当者会議1回、安全操業指導会議6回(令和元年度末)	
実績値	沿岸漁業調整対策会議開催回数17回、北方四島安全操業監視日数170日、ロシア連邦への通報回数(月報)23回、海外漁場入域漁業指導担当者会議1回、安全操業指導会議9回(令和元年度末時点)	
事業の目的	資源利用に係る調査及び漁場利用調整・指導等の開催、国際漁場隣接地域における水域監視・漁場指導等を行った。	
事業の成果	資源利用に係る調査及び漁場利用調整・指導等の開催、国際漁場隣接地域における水域監視・漁場指導等を行い、操業管理の徹底や外国漁船とのトラブル防止が図られた。	
その他特筆すべき事項	/	
備考		

水産業強化支援事業事後評価報告書

整理番号	1-2	北海道
メニューの内容	密漁防止対策の推進	
事業実施主体	北海道	
評価期間	令和元年度	
事業費	4,600 千円	
交付金額	2,300 千円	
成果目標	立看板設置等 34枚 合同パトロール1回（令和元年度末）	
実績値	立看板設置等 36枚 合同パトロール1回（令和元年度末時点）	
事業の目的	密漁防止のための境界を示す標柱の設置や看板の活用による普及啓発を実施した。	
事業の成果	啓発看板等を設置し、合同パトロールを実施したことにより、水産資源の保護及び漁業秩序の確立が図られた。	
その他特筆すべき事項	/	
備考		

水産業強化支援事業事後評価報告書

整理番号	1-3	北海道
メニューの内容	密漁防止対策の推進	
事業実施主体	北海道	
評価期間	令和元年度	
事業費	1,520 千円	
交付金額	760 千円	
成果目標	遊漁啓発小冊子 23,000冊(令和元年度末)	
実績値	遊漁啓発小冊子 19,160冊(令和元年度末時点)	
事業の目的	裾野の広い密漁防止対策として、小冊子作成・周知看板設置により普及啓発を実施する。	
事業の成果	道の出先機関や釣り具店等を通じて、遊漁者に配布し、また、警察や海保といった取り締まる側にも配布することで、遊漁秩序の維持が図られた。	
その他特筆すべき事項	/	
備考		

水産業強化支援事業事後評価報告書

整理番号	1-4	北海道
メニューの内容	密漁防止対策の推進	
事業実施主体	北海道	
評価期間	令和元年度	
事業費	17,172 千円	
交付金額	7,950 千円	
成果目標	北方四島安全操業監視日数 170日(令和元年度末)	
実績値	北方四島安全操業監視日数 170日(令和元年度末時点)	
事業の目的	北方四島周辺水域操業枠組協定に基づき操業するほっけ刺し網漁船及びびすけとうだら刺し網漁船における越境の未然防止を図るため、最新の要件に合致するシステムを整備し、操業の安全を確保する。	
事業の成果	最新の要件に合致するシステムを整備し、北方四島周辺水域操業枠組協定に基づき操業するほっけ刺し網漁船及びびすけとうだら刺し網漁船を監視することで、越境の未然防止が図られた。	
その他特筆すべき事項	/	
備考		

水産業強化支援事業事後評価報告書

整理番号	31-1	北海道
メニューの内容	養殖生産工程の管理	
事業実施主体	北海道	
評価期間	令和元年度	
事業費	413 千円	
交付金額	206 千円	
成果目標	研修会 3回	
実績値	研修会 3回	
事業の目的	洞爺湖産サクラマスに対する消費者の信頼向上とブランド化を図るため、マニュアル整備や研修会実施により養殖生産履歴記録手法の策定と普及を図る。	
事業の成果	研修会を3回開催し、組合員の意識向上とスキルアップが図られ、また、サクラマス養殖工程管理マニュアルを整備することにより、養殖生産履歴の表示がシステム化され、洞爺湖ヤマベのブランド化が進んだ。 出荷時に養殖生産履歴を表示する履歴書の様式を定めたことにより、表示のルール化と消費者の更なる信頼向上が図られた。	
その他特筆すべき事項	/	
備考		